新たな県産種雄牛「七福久（しちふくひさ）」の能力と特長

山形県農業総合研究センター畜産研究所

研究のねらい

「総称山形牛」のブランド力の向上と県内肉用牛経営の安定化を図るため、遺伝的に優れた能力を持つ雄牛と雌牛を交配して生まれた雄子牛の中から、高い評価の枝肉生産が期待できる新たな県産種雄牛「七福久」を選抜した。

研究の成果

① 「七福久」は脂肪交雑※1に関して高い遺伝的能力を有している（表１）。

② 牛肉のおいしさに関連する脂肪酸「MUFA※2」の育種価※3ランクが評価牛 1,692 頭のうち上位 10 分の１以内の「H」と、脂肪の質に関しても高い能力を有している（表１）。

※１ 脂肪交雑：胸最長筋の第６～７肋骨間切開面での脂肪の交雑の度合い。

※２ MUFA：一価不飽和脂肪酸（Mono Unsaturated Fatty Acids の略）。割合が高いと脂肪の融点が低くなり、脂肪の“口どけ”に大きな影響を与える。

※３ 育種価：多数の血統情報と枝肉情報を基にした予測式で算出される産肉能力の予測値。

表１「七福久」産子の枝肉成績

頭数	出荷月齢（月）	枝肉重量（ｋｇ）	ロース芯面積（ｃｍ^2）	バラの厚さ（ｃｍ）	皮下脂肪厚（ｃｍ）	歩留基準値（%）	脂肪交雑（BMS No.）	肉質等級 4・5割合	MUFA 育種価ランク
19（去勢10、雌9）	30.6 ±0.8	449.2 ±52	59.6 ±10.0	8.6 ±1.1	2.6 ±1.1	75.0 ±1.6	10.1±1.8	100%	H



図１　七福久



図２　「七福久」産子のロース断面

問い合わせ先：家畜改良部　℡：0233-23-8815　e-mail：ychikusanken@pref.yamagata.jp